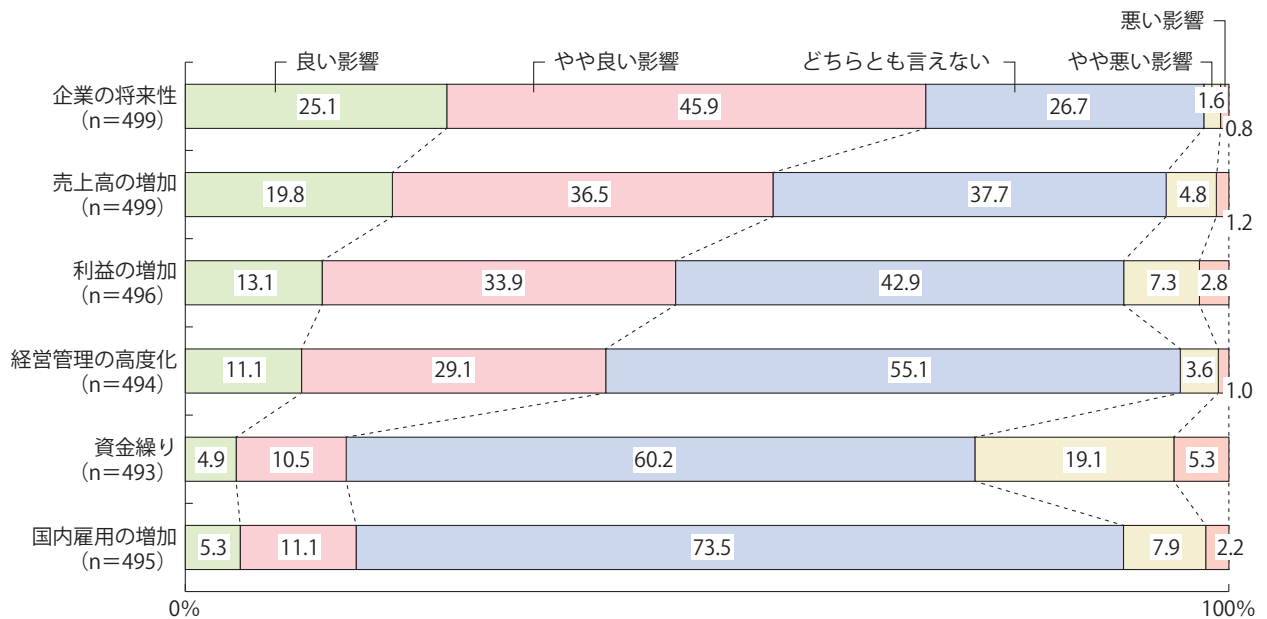


第 3-4-25 図

直接投資（販売機能）の開始によって企業の国内事業に与えた影響



資料：中小企業庁委託「中小企業の海外展開の実態把握にかかるアンケート調査」（2013年12月、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)）

(注) 最も重要な直接投資先の機能として、「販売機能」と回答した企業の、直接投資の開始による国内事業への影響の回答を集計している。

前掲第 3-4-24 図、第 3-4-25 図で、直接投資の開始によって資金繰りが悪化している企業もいることが分かった。では、直接投資の投資資金の回収には、どの程度の期間が掛かるのであろうか。

第 3-4-26 図は、直接投資をした時期別に、単月で黒字化した経験のある企業の割合と、投資資金が回収されている企業の割合を見たものである。また、上部には、「調査・検討から投資まで」、「投資から事業稼働まで」、「事業稼働から直接投資先が初めて単月で黒字化するまで」、「単月で黒字化してから投資資金が回収されるまで」の平均期間をそれぞれ示している。

これを見ると、「調査・検討から投資まで」はおよそ1年間、「投資から事業稼働まで」におよそ9か月程度、平均で掛かっており、具体的な準備を行ってから事業稼働のスタートラインに立つまでには、2年近くの期間が掛かっていることが分かる。

また、「事業稼働から直接投資先が初めて単月で黒字化するまで」には、平均でおよそ2年掛かっており、投資時点から初めて単月で黒字化するま

では平均でおよそ3年近く掛かっていることになる。

単月で黒字化した経験のある企業の割合を見ると、2010年以降に直接投資をした企業では約4割であるものの、1994年以前に直接投資した企業では9割弱が単月での黒字化を経験している。逆に言えば、20年以上経っても単月で一度も黒字化しておらず、直接投資先では追加資金を必要としている企業が1割以上いることになる。

さらに、「単月で黒字化してから投資資金が回収されるまで」は、平均で3年以上掛かっており、直接投資してから投資資金が回収されるまでには平均でおよそ6年掛かっていることになる。しかし、実際に投資回収がされている企業の割合を見ると、直接投資から6年が経過している企業が当てはまる2005～09年に直接投資を実施した企業でも、4割弱となっている。その後、投資時期が過去に遡るほど、投資回収がされている企業は増加するものの、1994年以前でも7割弱となっており、20年以上経っても3割以上の企業はまだ投資資金が回収できていないことが分かる。